

# 社会福祉法人愛の園福祉会2025年度 事業報告

## 1. 事業概況

2025年度は、法人の持続可能性を高める「変革の年」として、以下の重点施策を推進しました。

### (1)愛の園児童発達支援センターの開設と運営

- 2025年5月に「愛の園児童発達支援センター」を開設。
- 地域への周知と利用定員の充足および「ぶどうの木」のセンター内移設を実施。
- 開設早々の管理者の交代発生、八千代市の子育て支援策や関連機関との連携不足、療育方針や職員研修のあり方、稼働率の低迷、運転資金の追加融資など多くの課題があった開設初年度であった。

### (2)インクルージョン保育の推進

保育と療育の連携を深化させるために保育療育連携会議と障害児通所支援事業所管理者会を毎月実施してきた。保育と療育のそれぞれの役割とアプローチの違いを認識し、連携の定義を改めて明確にしていく必要性が明確となった一年であった。

### (3)内部統制と組織基盤の再編

事業規模拡大に伴い、組織規程、執行役員会規程、コンプライアンス規程等の見直し・制定を随時実施。

## 2. 主要会議の開催状況と主な議案

### (1)理事会・評議員会

#### 5月17日:理事会

2024年度の事業報告、計算書類、および財産目録の承認。事務業務の法人集約化を目的としたITシステム(SKYSEA、勤給解決等)の導入や、2025年度の副主任・専門リーダー任命、経理規程の改定および内部監査体制の整備を承認。

#### 6月18日:定時評議員会

2024年度事業報告および決算書類の承認、愛の園児童発達支援センター建築に伴う福祉医療機構からの借入および抵当権設定承認。任期満了に伴う理事6名と監事2名の選任、センター施設の追加に伴う定款の一部変更を承認。

#### 6月18日:理事会

定時評議員会での理事選任を受け、理事会の互選により堀口路加理事を理事長とし

て再任。

**11月29日：理事会**

2025年度補正予算の承認、愛の園児童発達支援センターの運営計画、時間有給休暇制度の導入に伴う就業規則の改定、組織・コンプライアンス・情報システム運用等のガバナンス関連諸規程の改定を承認。

**3月28日：理事会**

2025年度補正予算案および2026年度事業計画・予算の承認、給与規程の改定、処遇改善手当支給内規の制定、重要人事および評議員選任・解任委員選任を承認。

**(2)執行役員会(原則毎月第2水曜日に開催)**

●内部統制・規程整備:

内部統制関連規程、経理規程、クレジットカード取り扱い規程の改定。

●人事・労務管理:

育児・介護休業法改正に伴う規程改定、時間有給休暇制度の導入。

●財務・予算:

2025年度補正予算案の編成、センターの資金繰り・運転資金借入の検討。

●業務改善:

勤怠管理システム「勤給解決」の本稼働準備、事務業務の本部集約化の推進。

**(3)コンプライアンス委員会(5月・11月に開催)**

●内部通報窓口の選任、内部通報・相談受付様式の策定。

●職場環境改善アンケートの実施と結果分析、および打刻状況に基づく業務改善の検討。

**(4)情報システム委員会(5月・11月に開催)**

●「情報システム運用管理規程」の周知。

●IT資産管理ソフト「SKYSEA」の導入・運用管理、Google Workspaceの活用推進。

●各園のPC更新計画(2020年以前モデル)の立案と実行。

**3. 職場環境改善アンケートの結果と対応**

全職員を対象としたアンケートを実施し、課題の抽出と改善策を2026年度事業計画へ反映。

現状分析: 職員の仕事へのモチベーションや人間関係は良好である一方、「環境と仕組み」に不満が集中。

主な課題:

- 業務量の多さと非効率(送迎・掃除等のノンコア業務が専門職を圧迫)。
- 一部事業所における心理的安全性の欠如。
- ICT機器(PC/スマホ)や休憩スペースの不足。

対応策の実行:

- 即時着手:  
アナログ業務のICT化(連絡帳・記録等)を推進する。
- 組織基盤:  
管理職対象のアンガーマネジメント研修実施、指揮命令系統の統一と役職の集中回避の検討。
- 環境整備:  
休憩専用スペースの確保と「休憩中業務禁止」ルールの徹底、ICT機器の予算確保と購入。